

6月😊奨学生会議

松本賢治先生のお話し

6月28日(火)、6月の奨学生会議を出雲市民病院にて開催しました。参加学生は6名。1年生も2名参加してくれました。今回は、出雲の松本賢治先生から、先生の自分史をお話しいただきました。どんなきっかけで家庭医を目指そうと思われたのか、また学生から事前に先生に聞きたいことを出してもらっていたので、先生にその質問に答えてもらうこともでき、将来自分がどんな医師を目指していくのか考える上で、非常に参考になるお話でした。学生からの「家庭医の魅力とは？」という質問については、事前に、賢治先生が他の指導医の先生方にも回答を聞いて下さっていて、「ひとりの患者さんの人生に長く関わることができる」「大変な場面に遭遇しても燃えるようになる」「子どもの時から診ている子の成長も見られる」などそれぞれの先生の感じられている魅力を知ることができました。

今回は出雲の松本翔子先生と上村先生にもご参加いただいたので、講演のあとは、学生と医師との懇談を行いました。ざっくばらんに色々なお話しをすることができて、交流が深まりました。

今回は、1年生から5年生まで幅広い学生が参加してくれ、その学年に応じてこれからの将来設計に役立つお話を聞くことができました。また、家庭医とは？というお話を聞く機会はなかなかないので、貴重なお話を聞くことが出来てよかったという感想が多くあがっていました。今後も出雲での奨学生会議も定期的で開催していきたいと思います。



😊学生の感想😊

- 家庭医は名前は知っていたが詳しくは知らなかったので今日色々聞くことが出来、勉強になった自分の医師像に近い所もあり家庭医になる事も視野に入れ勉強していきたい
- 家庭医を目指す過程を聞き、ひとつのモデルを知ることができ参考になった。自分も松本先生のような家庭医になりたいと思った
- 今までお世話になっていたが先生の経歴や熱い思いなどをうかがう機会がなかったので、非常に興味深かった。このような先生方の生の声を直接聞くことができる機会を設けてもらい、非常に勉強になった